

神奈川県立武山支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

審議会等名称	令和5年度神奈川県立武山支援学校第1回たけやま学校運営協議会		
開催日時	令和5年10月24日(火) 9時30分～11時00分		
開催場所	武山支援学校		
(役職名)出席者	(会長)佐藤 雅己 (副会長)松田 美由紀 (委員)齊藤 光太郎、伊藤 綾季子、木村 友美、新田 将之、井澤 克仁、田中 恵介、村山 学 (本校職員)副校長、教頭※別室リモート 教育グループリーダー、安全グループリーダー、総務グループリーダー、支援グループリーダー		
次回開催予定日	令和5年10月24日(火)9時30分～11時00分		
問い合わせ先	神奈川県立武山支援学校 副校長 村山 知美 電話 046-856-5800 FAX 046-857-6367		
下欄に掲載するもの	議事録・議事概要	公開を概要とした理由	
審議・会議経過	<p><議題1>「防災について」～地域からの支援、地域への支援～</p> <p>○報告 本校での防災体制、防災教育について(安全GL、教育GL)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シェイクアウト訓練、避難訓練、防災体験、防災食喫食、引取り訓練、校内外での防災教育等について報告。 <p>○協議 被害を最小にするために準備しておくこと、できること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所送迎の途中での発災時、学校に近い場合には学校での受け入れ。 ・連絡方法は災害用伝言ダイヤルの活用が考えられる。 ・津久井浜分教室の生徒は津久井浜高校内での対応を校長同士で相談。 ・地域の配慮を必要とする方の災害受け入れを考える際には、物資調達について広域で検討が必要。 ・福祉避難所の位置づけを市の中で明確にしていきたい。 ・避難、防災訓練等で、保護者が一緒に訓練に参加できるとよい。危険箇所の見方は家庭でも応用できる。 <p><議題2>「地域との相互資源活用を通して共生社会の担い手を育成するためにできることは？」</p> <p>○報告 子どもたちの活躍の場を生かした共生社会実現プロジェクトについて「TMAP(Takeyama Messenger Action Project)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロモーション強化のポイント「新たなコミュニティの提供」「学校間交流、共同学習の充実」「地域事業へのボランティア参加」 <p>○協議 共生社会の担い手を育成するためにできることは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武山観光協会がつづき園周囲の草刈りを月に1回実施。10月に武山支援の生徒に草の運搬に協力してもらった。今後も協力いただきたい。 ・県民運動会でも中学生が係を担っており、不可欠。学校の制度として土日に充てて、カリキュラムの中に入れていく。このことを地域からボトムアップで県にまで伝えていく必要がある。 ・津久井浜高校はインクルーシブ実践推進校として4年目を迎え、共生社会を目指している。分教室とも部活体験や授業交流なども考えていきたい。 ・未就学児との交流として、ひまわり園等で生徒の学習成果を披露していくこともよいのではないか。 <p>5 会長まとめ 学校や地域がお願いしたいことなどを各委員に伝えていただき、実現させていただきたい。そのために本協議会の委員がいる。 以上</p>		